

＜教育利用＞ ⑦ 授業成果報告とシンポジウムの開催

授業成果報告会



【情報】情報の表現と管理「情報の発信」

生徒：1年3組40名

内容：修学旅行で行く予定の小樽市街観光ルートについて考えさせる。ChatGPTを使いながら行ったことのない地域で名産品のお土産や昼食のプラン等をまとめさせる。まとめたプラン等の内容が本当かどうか公式ホームページ等で確認させる。ChatGPTが紹介するものは実際に存在しないものや違う地域のものなど確認しなければいけないことを学ばせる。注意事項を確認したうえで生成されたプランを具体的な内容を対話させながらより良いものを生成させる。

【家庭科】介護福祉基礎「介護過程（介護計画の立案）」

生徒：3年6組 7名

内容：例年、介護過程の分野では、1人の利用者さんについて、課題を見つけその解決を目指して介護計画を立てている。今年も同様に授業を進めてきたが、ChatGPTを活用して自分たちの考えと比べたり、自分たちが考え付かなかった課題や介護方法について考える。

【情報】情報システムのプログラミング

「アルゴリズムとプログラミング」

生徒：2年4組5組 システムメディア科 ITシステム系列18名

内容：①文書生成AIのメカニズムを知る。②試しに使ってみる。③具体的な目的をもって使う。④プログラムのコーディングに役立ててみる。

【芸術】音楽Ⅱ「創作」

生徒：2年1・2組 26名

内容：歌唱曲を創作するための第1限目はChatGPTを活用して歌詞のイメージを具現化し、指示を加えたり変更することで生徒自身のイメージに近づける。2限目は作成した歌詞をCrevoを活用して歌唱曲を生成し、生徒自身のイメージに近づくよう変更を加え、作品とふりかえりを提出する。

テーマ 「今後、生成AIを利用していくために」

○コーディネーター

・廣島 朗 校長

○パネラー

- ・藤田 琴乃 様 文部科学省初等中等教育局学校デジタル化プロジェクトチーム
学びの先端技術活用推進室
 - ・小崎 誠二 様 奈良県教育委員会 教育情報化推進部 主幹
奈良教育大学教育DX研究室客員准教授
 - ・利根川 裕太 様 特定非営利活動法人みんなのコード 代表
 - ・他 保護者(2名) 生徒(5名) 教職員(4名)
- 参加者 全校生徒 保護者 教職員 一般希望教職員

提言

- 既存の使い方に固執するのではなく失敗を恐れずに新しい方法を試し、自分に合った使い方を見つける
- 未来に向けて生成AIをパートナーとして正しく判断して使えるように学ぶ
- 創作活動では、生成AIにやってもらうことと自分のこだわりをうまく合わせて作り上げていく
- いろいろなことにチャレンジしていこう